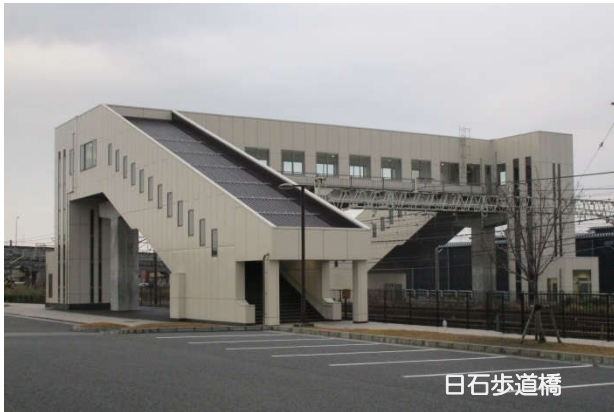


# 「柏崎の橋」

## 69 日石歩道橋

日石歩道橋は、JR信越本線・越後線をまたいで架かる、日石町と宝町をつなぐ橋である。

現在、文化会館アルフォーレが建っている日石町は、明治32年から平成13年まで102年にわたって日本石油株式会社の製油所が操業していた。平成17年に施設が解体された後、跡地の活用は市の課題となっていたが、平成19年7月の新潟県中越沖地震により使用不能となった市民会館に替わり、復興のシンボルとしてアルフォーレが建設された。



平成24年7月に開館したアルフォーレは、隣接する駅前公園と併せて、柏崎市中心市街地の震災復興、再生の核となる新たな拠点形成を目標として造られている。アルフォーレは免震構造を採用しており、災害時における避難所として防災用備蓄庫や車椅子利用者も利用できるトイレ・シャワー室などの機能も備えている。駅前公園も、かまどや災害用トイレ、非常時に避難所として使用可能なあずまやなどの防災機能が整備され、アルフォーレ開館に先立つ平成24年4月に供用が開始された。

日石歩道橋の建設は、駅前公園整備・アルフォーレ建設を含む、柏崎駅前周辺再開発事業の一環として計画された。災害等の際に、周辺町内から防災拠点となるアルフォーレ・駅前公園への避難通路としての役割を持たせることと、駅の南北を結ぶことで利便性・回遊性を向上させ、駅周辺市街地の活性化を図ることを目的としている。

平成21年6月に計画協議を開始。平成23年6月に議会承認を受け、JR東日本新潟支社と施行協定を締結し、着工した。事業費は7億5千万円。電車の通らない深夜にクレーンを使って主桁の架設工事を行うなどして、平成24年10月末に竣工した。

橋は延長38m、幅4m。自転車やストレッチャーも入る22人乗りのエレベーターが設置され、通路は車椅子同士のすれ違いやストレッチャーの利用も可能。11月6日に行われた完成式典には市長や市・県議会、JR、工事関係者、地元住民らが出席し、日石町側階段前でテープカットの後、渡り初めが行われた。

平成32年度に予定されている市役所新庁舎の移転を始め、今後整備される柏崎駅周辺のまちづくりが進展するにつれて、日石歩道橋の利用度と重要度はますます高まるであろう。

●参考にした資料  
『柏崎市文化会館アルフォーレ開館記念式典・記念公演次第』  
(520 Kフン)

柏崎日報 平成24年11月6日1面  
越後タイムス 平成24年11月9日2面